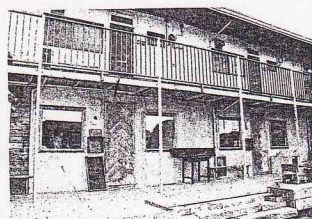


働く女性つながる場

オープンした。

どこにもある住宅街にたまたま、どこにもある二階建てのアパート。でも、窓から中をのぞくと何やらにぎわしい。古びた水道の蛇口で裝飾されたおしゃれなドアを開けると、女性や子どもたちのこやかな声が聞こえてきた。一級建築士小嶋直さん(左)と、デザイナー松村美乃里さん(右)が中心になり、リノベーションした。

元々は築三十年の空き物件。カフェや厨房、ショッパやキッズスペースなどを備えた落ち着いた空間に生まれ変わり、昨年六月、草加市八幡町に「シェアアトリエ つなぐば」としてオープンした。



え。結婚を機に会社を辞め、現在四歳の娘を育てる松村さんが提案したのが「子連れでも働ける場所」だった。小嶋さんをまとめ役に事業化への流れが固まり、運営会社の「つなぐば家守舎」を立ち上げた。

オープンまでには曲折もあった。当初、想定していた東武線草加駅近くの物件が契約前日、火災で燃えてしまった。別の物件探しに難航していた一七七年秋、市の仲介で見つけたのが、今のアパートだった。

現在の入居者は主に女性で、六十組ほど。オフィスとして利用したり、店を開いたり、日替わりでランチを提供したり。お菓子の店とドライフラワーの店がコラボしたギフトセットを販売するなど、ここでの出会

いが新たな仕事にもつながっている。一階には今年六月に美容室が入り、来年四月には木製おもちゃの遊び場もできる。松村さんは「つなぐばに来れば、自分にも何かできるかもしれない。そう思った母親たちが希望を持ち、一歩踏み出してくれれば」と期待する。

小嶋さんも「女性や子どもだけでなく、性別や年代を超えて地域の交流が生まれる場所にしていきたい」と思い描く。どこにもある建物に、ここにしかない価値を吹き込む。そんな再生の試みは、これからも続いていく。

1級建築士 小嶋 直さん
デザイナー 松村 美乃里さん

22 歳

(近藤統義)

ひと物語

① リノベーションで生まれ変わった「シェアアトリエ つなぐば」
② 「つなぐば」を女性たちが一歩踏み出せる場所にしたい」と話す小嶋直さんと松村さん＝いずれも草加市で



こじま・なお 東京都練馬区生まれ。つなぐば家守舎の代表取締役。2012年から川口市内に建築事務所を構え、来年、つなぐばに移転する。同市在住。

まつむら・みのり 静岡市生まれ。デザイン会社で空間デザイナーとして働き、2008年に退職。つなぐば家守舎の取締役で、草加市在住。